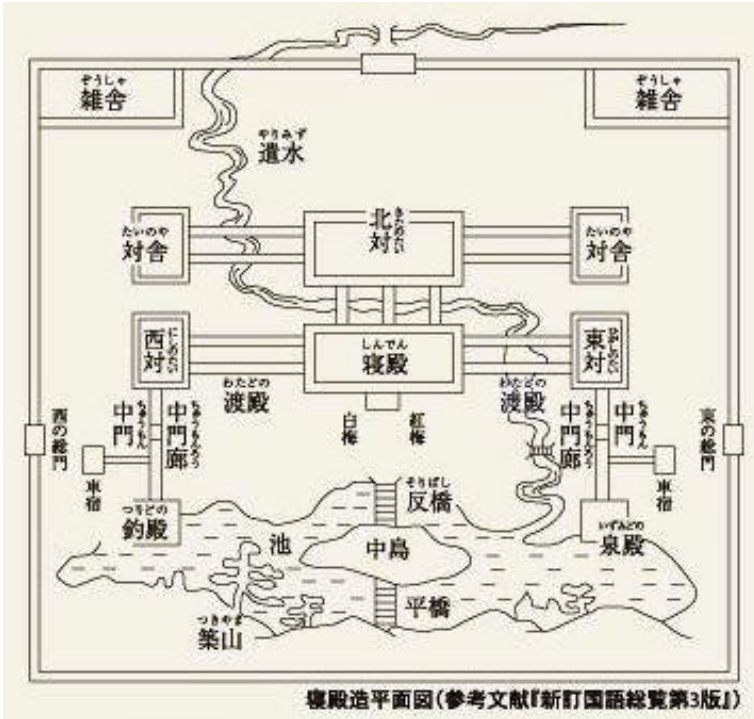


日本史(26)「国風文化② 国風美術・貴族の生活」

○今回のポイント

(1) 貴族の住宅

① 寝殿造…[1. _____](木地のままの材で造る)・[2. _____](ヒノキの樹皮で屋根葺き)



☆[3. _____]の特徴☆

四足門のつく築地塀で囲まれた方1町の敷地を基準とし、神殿を中心に北の対、東西の対、釣殿、泉殿があつて、透渡殿や廊で接続する。寝殿の南側には池を掘り、築山を設け、中島を作り、池水は寝殿の東から遣水で引いた。

- 畳・円座を敷いて座る。
- 襖(フスマ)・屏風で仕切る。
- ▶[4. _____]…中国の故事や風景を描く
- ▶[5. _____]…日本の風物を題材とし、なだらかな線と上品な彩色とを持つ。
- ▶初期の大和絵の画家[6. _____]が知られる。

(2) 調度品の技巧

- ① [7. _____]…漆で文様を描き、それに金・銀などの金属粉を蒔き付けて模様とする漆器の技法。
- ② [8. _____]…貝殻の真珠光の部分の薄く剥いで磨き、種々の形に切って漆器に埋め込技法。
- ▶材料は奄美大島や喜界島などの南島でとれる [9. _____] や [10. _____]



[11. _____]
(カタワグマ・ラテン・マキエ・テハコ)

③ 書道

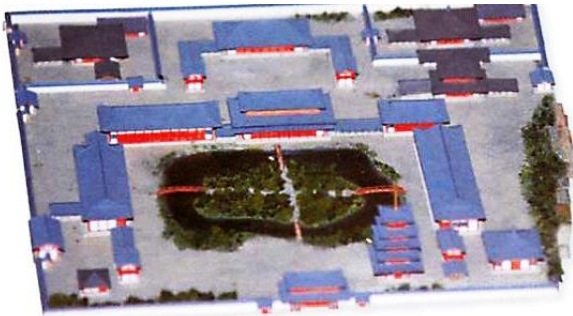

- ・ [12. _____]…前代の唐風の書に対し、優美な線を表わす。
- ・ [13. _____]…小野道風(オノノミチカズ)、藤原佐理(フジワラノサカサ)、藤原行成(フジワラノユキナリ)

小野道風『14. _____』	藤原佐理『15. _____』	藤原行成『16. _____』

(3)浄土教と美術

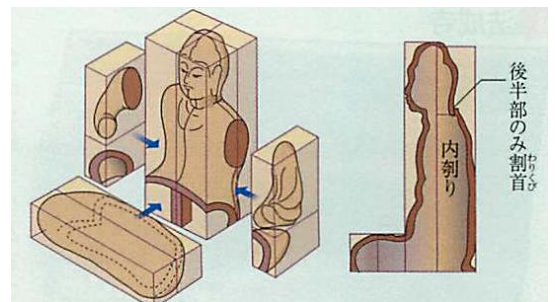
☆浄土教の流行により、浄土教関係の建築・美術作品が多く作られる。

①[17. _____]…阿弥陀仏を安置するための堂。

藤原道長「18. _____」(復元模型)	藤原頼通「19. _____」
	

②[20. _____]…平安中期の仏師。寄木造の手法を用い、定朝様と呼ばれる優美な和様を完成した。

・[21. _____]…平安中期以降の仏像彫刻法。2材以上の材を寄せ合わせ、多くの工人で部分を製作し、全体をまとめる技法。一木造に対する。末法思想を背景とする仏像の大量需要に応えた。



③[22. _____]…往生しようとする人を迎えるために仏が来臨する場面を示した図。

【貴族の生活】

(1)衣服

①男性…貴族の[23. _____]。通常服は[24. _____]。庶民男性は水干。

②女性…唐衣や裳をつけた[25. _____](十二単)。通常服は[26. _____](コチギ)に袴。

(2)食事

○比較的簡素。獣肉は用いられず。調理に油は使わない。食事は日に2回を基準。

(3)生活

①成人…10～15歳で男性は元服、女性は[27. _____]の式をあげる。男性は官職を得て朝廷に仕える。

②貴族の多くは[28. _____]に住む。摂関家などは京中に大邸宅。大和の[29. _____]などの寺社に参詣する以外は、京を離れて旅行をするのはまれ。

(4)[30. _____]

・朝廷で毎年同じ時期に行われる儀式。大祓・加茂祭のような神事、灌仏(4月8日の釈尊の誕生日に香水をかける儀式)などの仏事、七夕・相撲などの遊興、叙位・除目(官吏の任命)などの政務に関わることなど。

(5)現世の失望と来世

①[31. _____]と[32. _____]…天体现象や暦法など全て吉凶に関連するものとして解釈。

・[33. _____]…物の怪につかれたとして一定期間特定の建物の中で謹慎すること。

・[34. _____]…行くべき方角に悪神がいる場合、前夜に吉方の家に一泊し方角を変えてから行く事。

②来世的思考

・現世の富貴栄達が得られないと失望し、来世を頼みに[35. _____]を信仰するようになった。